



十字屋グループ

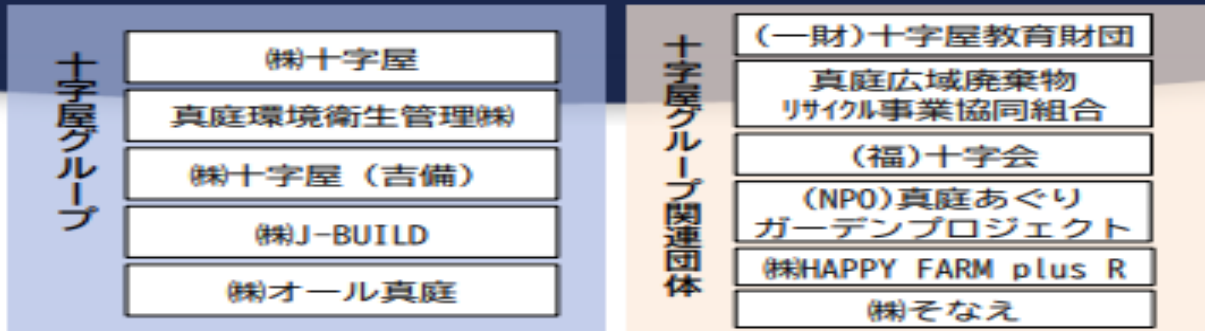
JYUJIYA  GROUP



持続可能な未来を創造する住民参加型イベントの実施と持続可能なまちづくりのための包括的支援活動

団体の概要

真庭市を拠点に一般廃棄物収集運搬・浄化槽維持管理を主業務とし、環境衛生/エネルギー/販売/飲食/建築/農業、また教育・福祉・地域文化発展への出資等を行っています。



グループ概要

取組の目標

▶ 地域課題の解決と住みやすく持続可能な地域の維持・発展

〔真庭市が抱える地域課題とは〕 中山間地域共通の課題である 少子高齢化・人口減少・担い手不足・地域荒廃・集落機能の維持困難 等…



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界の共通した「持続可能な開発目標」です

【十字屋グループ概要図】

環境省



・高齢者の増加
2015年高齢化率
真庭市:36.7% 全国平均:26.6%
2045年には真庭市:43.7%になる見込

・保険料の増加
・認知症予防
・独居高齢者

高齢者の活躍

伝統的製法

野菜加工場/集荷場

ブランド化

付加価値



下ごしらえ野菜、キット野菜

カットや加工で使いやすくして
学校、病院、家庭へ販売

・少子化
・教育の不足
・体験不足
・コミュニケーション不足

医療機関との連携



学び

体験



体験活動

NPO法人 真庭あぐりガーデン
プロジェクトとの連携

食育



一般家庭
忙しく働くママのいる家庭でも
簡単に料理ができるキット野菜

なんでもし隊
J-BUILD
災害支援



家庭や学校給食から出る
生ゴミをしっかりと分別



収入増加

雇用

集いの場

加工



元気輝きエクササイズ

NPO法人 真庭あぐりガーデン
プロジェクトとの連携

加工販売

生産



直接販売

再生



本体業務

生ゴミ・ゴミの回収
し尿・浄化槽汚泥の収集

消費



農業生産法人化

担い手育成

地域資源活用

・担い手の減少
・耕作放棄地が増
・農家の高齢化
・生産力が減少

環境に優しい

液肥を農地還元



散布農地:80~100ha
液肥製造量:8,000~10,000t

液肥野菜

液肥米

液肥活用

メタン発酵プラント

真庭広域廃棄物
リサイクル事業協同組合との連携



取組の概要

○次世代人材をまちぐるみで育てる普及啓発活動

○安心して活動に取り組める生活基盤を創出するまちづくり

普及啓発活動

- ① 住民参加型SDGsイベント・ワークショップ
- ② SDGs学習機会の創出
- ③ 意識啓発・交流



官民協働
市域全体での
パートナー
シップ構築

普及啓発イベントは、真庭市・関係各所・関係団体等が企画や意見を出し合い、スタッフとして参加して作り上げています。



市職員・市議会議員・企業・団体・高齢者グループなど、大人から子供まで様々な方に参加いただき、SDGs宣言書を書いてもらいました。3,000本のまにわSDGsツリー(ペットボトルツリー)にもみんなの宣言書が入っています。

SDGs学習機会創出のため、子ども達から標語を募集しSDGsかるたを作成しました。



まちづくり

- ① 地域助け合い
- ② 循環型社会づくり

困りごと解決「なんでもし隊」
周産期・緊急時医療の支援
病院への地元産食材の食事提供



地域バイオマス資源化による循環型農業振興
(生ごみのエネルギー化、バイオ液肥の利用)



↑メタン発酵施設視察・市内SDGsツアーの受入やバイオ液肥の野菜収穫体験の実施、都市部での販売等により、モデル普及を目指しています。
←農業関連福祉事業により高齢者の手仕事創出や子供たちへの田植え体験等を行っています。

- ⑤ 文化発展・福祉貢献

環境絵画コンクール・環境学習の開催
文庫館設立・歴史展示
NPO・福祉施設への
出資・支援



- ④ 環境保全

自然エネルギーの活用
水環境の保全

- ③ 災害時支援活動

食料備蓄・設備保有・地域合同訓練
近隣自治体/AMDAとの災害協定
災害時相互支援体制構築への取組

